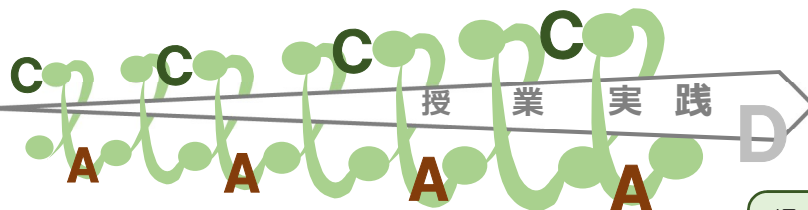


体育

P 指導計画

終末に
「何ができるようになるか」



資質・能力が育まれ
学校の教育目標が
具現される。

C 「主体的・対話的で深い学び」の視点

児童の
つばやきや
様相から Check !



「体育大好き！運動大好き！」「家や地域でもやってみたい！」「あの競技の歴史やルールを詳しく知りたい！」

□Check 6 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するために、運動やスポーツに親しみ、実践しようとしている

「〇〇に気を付けてやったらできたよ！うまくなったよ！次は、◇◇に挑戦してみよう！」

□Check 5 「目指す姿」を達成するために試行錯誤したことを、その運動やスポーツがもつ
価値や特性、『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けていたか。

「やった！できた！」
「もう一回やってみよう！」
「こうやって、やってみたらできるかな。」

□Check 3

課題解決に向けて自ら粘り強く取り組み、学習を振り返って、課題を修正したり新たな課題を設定したりしていたか。

「できるようになりたい！」

「勝ちたい！」「記録を伸ばしたい！」

□Check 1 運動への憧れや挑戦意欲をもっていたか。

「もっと、こうするといいいよ。」
「私は、～に気を付けてやっているよ。」
「見てるよ！」「補助するよ！」

□Check 4

仲間と動きを見合ったり補助をし合ったりして、動きや技のポイントを見付けたり、よりよい解決に向けて思考したり判断したりしたことを伝えていたか。

「動きのポイントはこれだな！」「〇〇に気を付けて練習しよう！」

□Check 2 単元や本時の「目指す姿」を達成するための見通し
（「課題」「技術ポイント」「練習方法」）をもっていたか。

A 授業改善のポイント

☞□Check 1 運動への憧れや挑戦意欲をもたせるためには

- ・単元及び1単位時間のねらいを明確にしましょう。
- ①児童の実態を三つの資質・能力から丁寧に把握しましょう。
- ②単元及び1単位時間の終末の児童の姿を、学習指導要領解説に示された内容から、具体的に描きましょう。
- ・児童が学びたいこと（できるようになりたい！勝ちたい！記録を伸ばしたい！）と、教師が指導したいことを合致させた課題を設定しましょう。
- ・「段階表」「勝敗表」「記録表」などの学びの足跡から、前時までの学びをより発展させる課題を設定しましょう。
- ・どの子どもが、三つの資質・能力を身に付けられるよう、様々な練習場所を設定したり、プレイヤーの人数、コート広さ、用具、プレイ上の制限などを工夫したりしましょう。
- ・教師の示範やVTR映像で「目指す姿」を視覚的に提示し、児童の「すごい！やってみたい！」の意欲を喚起しましょう。

☞□Check 2 単元や本時の「目指す姿」を達成するための見通し（「課題」「技術ポイント」「練習方法」）をもたせるためには

- ・「目指す姿」「技術ポイント」「練習方法」を、言葉や絵図・VTR映像・教師の示範などで提示しましょう。
- ・運動全体と部分の動きを理解させるために、擬態語や擬音語を使って課題を提示しましょう。

☞□Check 3 課題解決に向けて自ら粘り強く取り組み、学習を振り返って、課題を修正したり新たな課題を設定したりさせるためには

- ・個に応じたスモールステップの課題（易しい→難しい、全体→部分、量→質など）をもたせましょう。
- ・動きの高まりを実感できる場面（発表会、競技会、ゲームなど）を設定しましょう。

☞□Check 4 仲間と動きを見合ったり補助をし合ったりして、動きや技のポイントを見付けたり、よりよい解決に向けて思考したり判断したりしたことを伝えさせるためには

- ・動きを見る視点を示し、「自分のイメージと実際の動き」「仲間同士の動き」などを比較（共通点、相違点）させましょう。
- ・ICT機器を活用し、動きを視覚的・客観的に観察させましょう。
- ・伝え方を段階的に指導しましょう。
- STEP 1：視点をもって仲間の動きを見る
- STEP 2：仲間の動きの様子（「～になってたよ。」）を伝える
- STEP 3：仲間の動きやゲームの様相等を高めるためのポイントや練習方法を伝える。（「～に気を付けて、～の練習をしてみたら。」）
- ・仲間が安心・安全に練習できたり、仲間運動の感覚を掴ませたりするための補助の仕方を指導しましょう。

☞□Check 5 「目指す姿」を達成するために試行錯誤したことを、その運動やスポーツがもつ価値や特性、『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けさせるためには

- ・運動のできばえ、勝敗、記録、と「目指す姿」「課題」「技術ポイント」「練習内容」「仲間との関わり」を関連付けて学習を振り返らせましょう。次時の課題と見通しももたせましょう。

☞□Check 6 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するために、運動やスポーツに親しみ、実践させるためには

- ・安全に十分配慮し、休み時間に、体育で使用する教具（ボール、バトン、マットなど）を使用できるようにしましょう。
- ・学級活動や児童会活動、体育的行事の活動として「チャレンジスポーツinぎふ」に挑戦してみましょう。
- ・オリンピック・パラリンピック、様々なスポーツイベント等の紹介をする掲示コーナーを設置しましょう。